

| |
|-------|
| 正 誤 表 |
|-------|

「JSSI免震構造施工標準2013」の内容の一部に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

一般財団法人 経済調査会

| 頁 | 訂正箇所 | 誤 | 正 |
|----|--------------------------------|---|---|
| 41 | 表 3.5.2 損傷状態の定義 区分 機能保全 状態 | 「 <u>無補償</u> で継続使用可能。」 | 「 <u>無補修</u> で継続使用可能。」 |
| 55 | (3) すべり・転がり系アイソレータを使用する場合（2行目） | 「工場出荷時に <u>写真 5.2.3.1</u> に示すように、仮止め材を用いた仮止めを実施している。」 | 「工場出荷時に <u>写真 5.2.2</u> に示すように、仮止め材を用いた仮止めを実施している。」 |
| 55 | (3) すべり・転がり系アイソレータを使用する場合（7行目） | 「鉄骨重量を直接アイソレータに負担させることの <u>内容</u> 計画し、鉄骨組立完了後にアイソレータに荷重移行を実施することを推奨する。」 | 「鉄骨重量を直接アイソレータに負担させることの <u>ないよう</u> 計画し、鉄骨組立完了後にアイソレータに荷重移行を実施することを推奨する。」 |